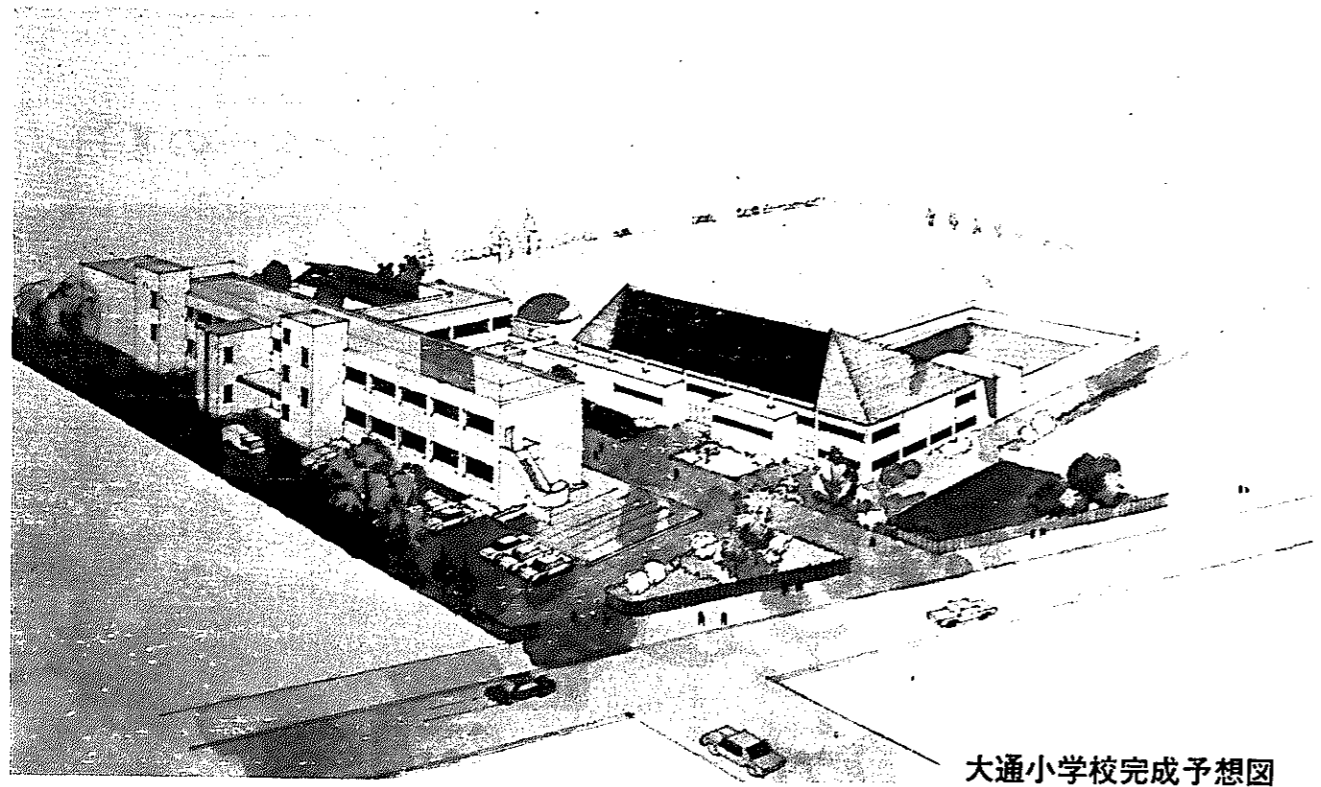


# 54年4月めざしスタート

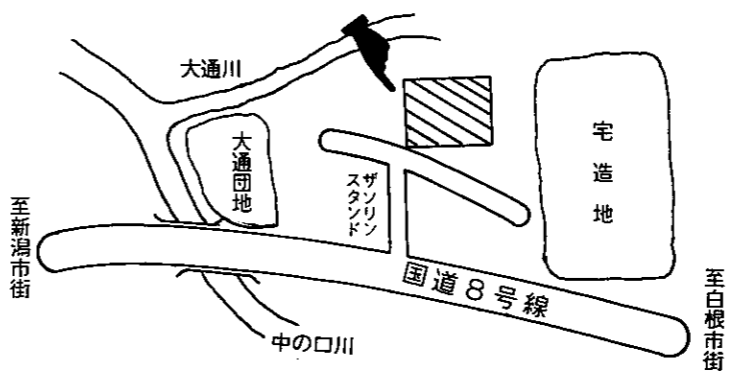


5月22日、造成の終えた大通小学校建設用地で、これからの工事の安全を願って地鎮祭が行われました。これにより来年4月の開校をめざして、本格的な工事が進められます。学校規模は、開校当初6学級を計画し、最終的には12学級規模になる見込みです。

同校が開校した場合、教育委員会では児童を大野小へ教育委託している地区と、現在、鷲巻小校区の下鷲ノ木第1、根岸小校区の大通団地を新しい校区として決めています。



大通小学校完成予想図



下塩俵などが新しい校区……

## 大通小学校の建設

### 6学級で開校・将来は12学級規模に

#### 七百戸の住宅建築が可能

一方、これらの地区をふくむ北部地域は、四十八年から民間の開発業者による、ニュータウン計画が進み、大通団地の誕生のほか、すでに十二万六千平方メートルの土地も造成され、あわせて約七百戸の住宅建築が可能です。

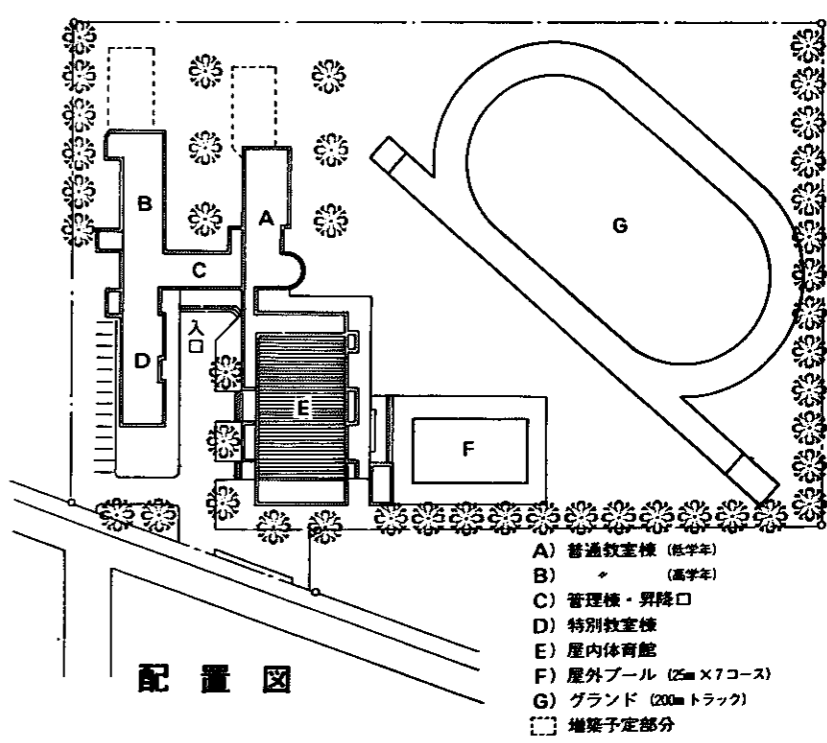
#### 当初計画より一年早い開校

市でも、こうした実情をふまえ黒埼町の要望で、五十二年四月から契約更新を五年から三年毎に改めるとともに、小学校の建設計画を具体化し、五十五年四月開校の予定で、約一億七千万円の予算を計上して、用地の買収を行ってききました。

しかしその後、国の景気浮揚策もあり、当初計画より一年早い五十四年四月に「大通小学校」として開校することを、十二月市議会が決めました。

#### 総事業費は四億五千万円

大通小学校の建設に使われる総事業費は約四億五千四百万円です。造成工事も終わり、いよいよ校舎



- A) 普通教室棟 (低学年)
- B) (高学年)
- C) 管理棟・昇降口
- D) 特別教室棟
- E) 屋内体育館
- F) 屋外プール (25m x 7コース)
- G) グランド (200mトラック)
- 増築予定部分

#### 黒埼町への教育委託の解消へ

大通小学校は、黒埼町への教育委託の解消と、宅地開発による人口増加に対応して、建設されるものです。

現在、黒埼町の大野小へは下塩俵、鷲ノ木核町下鷲ノ木第一の児童七十六人が通学しています。本来ならばこの七十六人の児童

は、白根市の学校施設で教育を受けることが一番理想であり望ましいことです。

しかしながら同地域は、白根市となる以前から、大野小へ通学している過去の慣行もあり、市政施行後も黒埼町と契約を結び、教育事務を委託してきました。

#### 体育館の屋根はガラス張り

建て物は、近代的なモダンなつくりとなります。

教室棟は、低学年と高学年とにわけられ、児童が年齢に応じて伸び伸びと学校生活を送れるように設計されています。

また、低学年の教室棟には小体育館的なプレールームも設けられ食堂や展示場などとして多目的に利用ができます。

体育館は、自然光が十分取り入れられるよう、北側の屋根はガラス張りになります。グラウンドは一周二百メートル、プールは二十五メートルのものがつくられます。

#### 市にない手を育てるために

現在、教育委員会では開校のことなどで、地元の人たちと話し合いを進めています。

こうした中で、教育委託や通学路の問題など多くの意見や要望も出されています。

今後は、これらの一つ一つを皆さんと話し合いの中で解決して、郷土愛に燃え、心身ともに健康で

次代の白根市にない手としてふさわしい子どもたちを、行政も市民も一体となって育て、教育していかねばなりません。

そのためには、家庭、地域のそれぞれで、一人ひとりが協力し、理解する必要があるのではないのでしょうか。